



**養父市まち整備部上下水道課**

**住所：兵庫県養父市広谷250-1**

**TEL：079-664-1629**

**FAX：079-664-2015**

**E-mail：suidoujigyou@city.yabu.lg.jp**

**http：//www.city.yabu.hyogo.jp**

## 養父市水道ビジョン



【基本理念】～環境と調和し未来へつながる水道～

『ふるさと養父の安全でおいしい水』

「養父市水道ビジョン」は、目指すべき水道の理想像と、その現実に向けて、おおむね10年間に取り組むべき施策を示しています。

本市の水道事業は、昭和28年の創設から普及に取り組み、平成27年度末では普及率99.96%に達しています。

しかし、少子高齢化による人口減少社会の到来や東日本大震災を踏まえた災害対策のありかた、さらには施設の老朽化など水道を取り巻く環境は大きく変化しています。

市は、このような変化に対応するため、来るべき時代に求められる課題に取り組む新しい将来像「養父市水道ビジョン」を策定し、50年程度先のあるべき姿を見据え、水道の理想像を実現するため、今後おおむね10年間に取り組むべき施策目標を定めます。

平成28年12月策定

養 父 市



# 養父市水道ビジョン

## 基本理念

～環境と調和し未来へつながる水道～

『ふるさと養父の安全でおいしい水』

## 水道の理想像（50年程度先）

### 「持続」

- 安定した事業経営を継続している。
- ベテラン職員から若い世代への技術の継承・人材育成と人員確保を計画的に実施している。
- 経営的、技術的に持続可能な運営体制を構築している。
- 地域の状況や水需要の動向などの見とおしを踏まえ、多様な形態で市民へ水が供給される体制を構築している。
- 水需要に応じたダウンサイジングや施設の統廃合などを計画的に実施している。
- 経営効率を高めるため、新たな視点でコスト削減を行っている。
- 市民とのコミュニケーションにより、水道事業のあり方の理解や、そこで得られた新しいニーズや情報を水道サービスに生かす仕組みが構築されている。

### 「安心」

- 安全で信頼される水道により安定供給を継続している
- 水道水の取水に影響のない水源管理を行っている。
- 施設規模に関わらず水道水の安全性を確保している。
- 適切な水質検査機関へ委託が継続され、その情報を公開している。
- 専用水道、貯水槽水道などへ適正管理および衛生指導を行い、利用者の安全性を確保している。
- 市民の認識が深まり、給水装置に関する事故などが大幅に減少している。

### 「安定」

- 基幹管路、浄水場、配水池の耐震化を順次進めている。
- 基幹管路以外の配水管や給水管についても、適切な材質や仕様を採用している。
- 重要施設などへ至る導・送・配水管についても耐震性を確保している。
- 災害時や緊急時において、市民へ必要最低限の飲料水や生活用水を供給できる体制を構築している。
- 他事業者や企業との相互応援協定を結ぶなど、災害時や緊急時の給水体制を構築している。
- 市民とのコミュニケーションの充実により、応急給水拠点や給水方法、耐震化事業の必要性が認識されている。
- 市民との効果的な共同防災訓練を実施している。

## 理想像を具現化するための実現方策（今後10年間）

### 1. 水道水の供給体制の維持「持続」

- ①継続的な事業運営の継続
  - 「水道施設更新計画」による事業運営の推進
  - 「水道施設更新計画」は、概ね5年程度で見直す
- ②効果的な施設配置の検討
  - 地区別の水需要動向調査の実施
  - ダウンサイジングや施設の統廃合の検討を進める
  - 多様な手法により水道水の供給の可能性について検討を進める

### 2. 安全で安定した水道水の供給確保「安心」

- ①安全で良質な水道水の安定供給の継続
  - 水道施設全体の統括的な管理体制の構築
  - 水質検査結果の公表の継続
- ②水資源環境保全と水質事故の防止
  - 具体的な水質汚染事故を想定した対策
  - 水源周辺地域の監視の継続
- ③適切な水質管理の継続
  - 水質検査結果の評価および必要な対策実施体制の維持
  - 水質管理を担う人材の育成
- ④貯水槽水道の管理体制強化
  - 貯水槽対策の策定と実施

### 3. 災害時に必要最低限の給水を可能にするライフラインの確保「安定」

- ①基幹施設と管路網の耐震化
  - 基幹施設の耐震性の確保
  - 管路更新時および重要給水施設への配水管の耐震管への更新
  - 主要施設の耐震診断の実施
- ②応急給水の確保と応急給水体制の整備
  - 応急給水拠点の整備
  - より実効性のある危機管理マニュアル（養父市水道災害対応行動指針）の見直し
  - 組織内での災害訓練等の定期的な実施
  - 他の水道事業者との共同防災訓練等の実施
  - 資機材等の調達・流通経路に関する調査の実施

## 理想像を具現化するための実現方策（今後10年間）

### 4. 環境負荷の低減「持続」

- ①コスト削減と省エネルギー化
  - コスト削減策の先進事例、類似事例の調査
  - 様々な業務分野における、最新技術の導入
  - 設備更新時に省エネルギー・高効率機器などの導入
  - 有効率向上を図るため、地区ごとの漏水調査の実施

### 5. 人材育成と組織力強化「持続」「安心」

- ①技術基盤の確保
  - 水道技術職員の確保（民間委託等）
  - 知識や技術力強化のための人材育成・研修プログラムの策定
  - 技術継承のための維持管理マニュアルの整備
  - 研修への積極的な参加の継続や他水道事業職員との情報交換
- ②持続可能な民間活用
  - 現状に応じた適切かつ有効な活用
  - その他各種委託業務の定期的な検証の実施
  - 新たな分野における民間事業者活用の検討を進める

### 6. 市民とのコミュニケーション「持続」「安心」「安定」

- ①市民とのコミュニケーションの充実による水道に関する情報の共有化
  - 利用者ニーズを把握するために市民アンケート調査等の実施
  - ウェブサイトの内容の充実を始め、その他多様な情報ツールの活用
  - 子どもたちへ水道に関する特別授業（現地見学等）の実施
- ②災害、緊急時対策に関する市民との情報の共有化
  - 災害対策に関する情報の発信
  - 市民との共同防災訓練の実施